

地域と連携して進める教育活動  
～地域の行事を通して～

越前市武生第一中学校

1 はじめに

本校のスクールプランの重点目標の一つに「保護者・地域・小学校との連携」がある。以前より保護者・地域との連携を進めてきたが、「地域と進める体験推進事業」もあって、昨年より地域との連携を深めてきている。

2 具体的な取り組み

主に2つの方法で地域との連携を進めている。

1つは、地域で行われている行事（納涼祭・体育大会・敬老会）に、生徒が参加することで、生徒の地域行事に参加する意識と愛着を高め、地域貢献への意欲を育むことをねらいとしている。

もう1つは、学校行事に地域・保護者に参加していただき、地域の方から多くのことを学ぶと同時に、地域の方に学校がやっていることを知ってもらうことをねらいとしている。

(1) 活動をPRするためのうちわ作り

各地区（小学校区）で行われる行事に武生一中の生徒が参加していることをPRするための方法として、生徒の提案のうちわを製作し、地域の方へ配布することにした。

同じ地区の生徒でグループを作り、その地区の有名な場所や行事についての話し合いを行い、そのものの説明を書いたうちわを製作した。参加した各行事で、生徒がうちわを配布した。



(2) 西地区・大虫地区の納涼祭への生徒の参加

8月に行われた西地区・大虫地区の納涼祭の準備を手伝った。地域の方とともに机やブルーシートの準備、各コーナーの飾り付けなどを行った。納涼祭開始後も、地域の方とともに、ヨーヨー釣りや輪投げなどのゲームコーナーの運営や飲み物・チケットの販売などを行った。



### (3) 東地区体育大会への生徒の参加

9月に行われた東地区の地区体育大会に参加し、最初に自分の住んでいる町内のテントでうちわを配布し、町内の一員として開会式に参加した。

競技開始後は、景品渡しや審判、得点板の管理などの仕事を手伝った。昼食の時間帯には、中学生だけが参加の競技も行った。



### (4) 吉野地区敬老会への生徒の参加

9月に行われた吉野地区の敬老会の手伝いを行った。バスで集まってくるお年寄りの迎え入れや玄関での靴を脱ぐ手伝い、座席への案内などの仕事を行った。迎え入れたお年寄り一人ひとりにうちわを手渡した。



### (5) 「ようこそ先輩」への地域の方の参加

2年生のキャリア教育として、例年地域の方を講師として、生徒に対して職業に関する話をさせていただいている。昨年までは、生徒は自分の興味のある職業についている方1名の話聞くのみであったが、1つではなく複数の職業の話聞けるようにした方が良いという、昨年度の反省の元、今年度は保護者の方に依頼して、昨年度までより多くの講師の方を招き、各生徒が2つの職業について話を聞けるようにした。生徒は複数の職業の方の話を比較して聞くことができ、生徒の進路を考える一助となった。

### (6) 「いのちのぬくもり体験学習」への地域の方、保護者の参加

例年、多くの赤ちゃん、そのお母さん、本校の保護者の方に参加していただいて、「いのちのぬくもり体験学習」を行っている。昨年度まで、3会場で行っていたが、施設の都合で3階に会場が設定され、お母さん方には赤ちゃんを抱っこして階段を上り下りしていただくという苦勞をかけていた。また、3会場に分かれているため、他会場の様子もわからず、人手が足りない会場も出た。

今年度はそれらの反省を生かして、体育館を会場にして1会場で、この体験を行った。階段を上り下りしなくてもよいので、お母さん方の評判も良く、本校の保護者からは、互いに話し合い、助け合いながら進められ良かったという感想をいただいた。

今年度の本校の地域と連携した活動を紹介したが、来年度も今年の反省を生かしながら活動をしていきたいと思う。